

命もいらず 名もいらず  
官位も金もいらぬ人は  
始末に困るもの也

明治の  
乱・事件

# 明治の光と影

明治150年企画展示

— かなたへ  
君と共にゆかまし

明治の  
青春

展示場所／愛知県図書館 3階707 展示期間／平成30年3月16日(金)～6月13日(水)

明治を育んだものづくりのこころ 愛知県図書館

# 明治の光と影

明治の乱・事件 / 明治の青春

150年前、明治維新を成し遂げた日本は、最後の内乱である西南戦争を経て、西洋文明を積極的に移入し近代化の道を邁進しました。明治の約44年間は、文学を含む様々な分野における創成と革新の時代であったと同時に、急激な変化がもたらす社会の歪みや矛盾が時に暗い事件となって噴出した時代でもありました。

明治150年を迎える今年、「乱・事件」「青春」をキーワードに歴史や文学、小説を中心とした創作の世界で明治時代を振り返る展示を行います。それらを通して見えてくる明治時代の光と影、そしてその中で懸命に生きた人々の姿は、現代の私たちにも生きる指針を与えてくれるに違いありません。

命もいらず 名もいらず  
官位も金もいらぬ人は  
始末に困るもの也。  
此の始末に困る人ならば  
艱難を共にして國家の大業は  
成し得られぬなり。

『西郷南洲遺訓』より

## 西郷隆盛と西南戦争

- 『西郷南洲遺訓』西郷南洲（隆盛）
- 『代表的日本人』内村鑑三
- 「明治十年丁丑公論」福沢諭吉
- 『西郷隆盛紀行』橋川文三
- 『西南役伝説』石牟礼道子
- 『西郷隆盛 西南戦争への道』猪飼隆明
- 『西南戦争 西郷隆盛と日本最後の内戦』小川原正道
- 『西郷隆盛 維新150年目の真実』家近良樹
- 『西郷隆盛はなぜ犬を連れてくるのか』仁科邦男
- 『唯今戦争始め候。明治十年のスクープ合戦』黄民基

## 明治の乱・事件と文学、創作の世界

- 『時代閉塞の現状 食うべき詩』石川啄木
- 「興津弥五右衛門の遺書」「堺事件」森鷗外
- 「西郷隆盛」芥川龍之介
- 『西郷星』岡本綺堂
- 「警視庁草紙」「幻燈辻馬車」山田風太郎
- 「歳月」「殉死」司馬遼太郎

『田原坂 小説集・西南戦争』海音寺潮五郎

- 『西郷内閣』早瀬利之
- 『ニコライ遭難』吉村昭
- 『辛酸』城山三郎
- 『蒼天見ゆ』葉室麟

## 明治の青春

- 『初恋 声にだすことばえほん』島崎藤村
- 『現代語で読むたけくらべ』樋口一葉作
- 「舞姫」「キタ・セクスアリス」森鷗外
- 『三四郎』『それから』『門』夏目漱石
- 『いちご姫・蝴蝶 他二篇』山田美妙
- 『明治乙女物語』滝沢志郎
- 『明治ガールズ 富岡製糸場で青春を』藤井清美
- 『家守綺譚』梨木香歩
- 『開化鐵道探偵』山本巧次
- 『球道恋々』木内昇
- 『東天の獅子』夢枕獏
- 『アイスクリン強し』畠中恵



## 愛知県図書館

名古屋市中区三の丸 1-9-3  
Tel. (052) 212-2323

〈アクセス〉

【地下鉄】鶴舞線又は桜通線  
「丸の内」下車 8番出口から  
徒歩 5分

【市バス】幹名駅1系統・名駅  
14系統「愛知県図書館」下車  
徒歩 3分

※駐車場は有料です。台数に限りがありますので、公共交通機関での来館にご協力をお願いします。



レモンの木は花さきくらき林の中に  
こがね色したる柑子は枝もたわにみのり  
青く晴れし空よりしづやかに風吹き  
ミルテの木はしづかにラウレルの木は高く  
くもにそびえて立てる国をしるやかなたへ  
君と共にゆかまし

ゲーテ作「ミニョンの歌」(新声社訳)より